

シリーズ まちづくり

第1回

最前線

今、身近な暮らしの中で着実に広がってきているのが、市民の皆さんによるまちづくり活動。その活動の様子や、そこに集う皆さんの思いをシリーズで紹介していきます。

【今月のまちづくり活動団体】

北海道 グリーンファンド

北海道・東北などに風車を建設し、自然エネルギーの普及に努めているほか、セミナーなども開催し、地球温暖化防止に取り組んでいるNPO法人。

■メンバー数/1,150人
■開設年月/1999年7月
☎280-1870
ホームページ
www.h-greenfund.jp

地球を守りたい気持ちを形にしよう！行動しよう！

インターン生の
やすもとてつろう
安本 哲郎さん
が紹介します



環境問題は身近な問題です

毎日の生活の中で、電気を使わない日はないですね。この電気がどのようにつくられているか、考えたことがありますか？

わたしたちは、地球環境を守るために、この電気などのエネルギー消費量を減らすとともに、エネルギーを自然の力で生み出そうという活動をしています。

みんなの気持ちが詰まった風車

二酸化炭素を発生させずに電気を生み出す風力発電の普及に努めています。風車は、1基建てるのに3~4億円という膨大なお金が掛かるので、わたしたちは、「グリーン電気料金制度」という仕組みを平成11年から始めました。これは、電気料金の5%分を寄付していただくもので、電気料金と一緒に引き落とされます。毎月の寄付額は、一般家庭で400円~500円程度。そこでわたしたちは、「コーヒー1杯分の寄付」と言っています。

これらの寄付などを基に建設した「市民風車」は、いまや全国に11基まで増えました。

精神論で終わらせない

誰だって「地球を守りたい」という気持ちはあるでしょう。でも、日々の生活に追われているし、金銭的にも余裕がないからできないという方が多いと思います。

そこで、わたしたちは、環境活動から利益を得られる仕組みをつくり、皆さんが参加するきっかけをつくりたいと思っています。環境に優しいことをしたら、ご褒美があってもいいと思いませんか？

新しいことに挑戦していきます

今年、国からの補助を受けて、カーボンオフセットのモデル事業を始めました。これは、簡単にいうと、省エネや太陽光パネルの設置などによって市民の皆さんが削減した二酸化炭素量を販売し、収益を還元するというもの。世界的にも先駆的な取り組みなので、ぜひ成功させたいと思っています。

すべての風車には愛称を付けています。写真は道内4基目の「かなみちゃん」(石狩市)。昨年12月から運転しています

グリーン電気料金制度に参加している
なりた やすこ
成田 康子さん

風車の数だけ
喜びを実感できます

グリーン電気料金制度に参加して9年になります。自分の寄付があつた風車の一部になってるんだな、と自分の頑張りを実感できるのがうれしいですね。これから、もっとたくさんの風車が建つことを願っています。

寄付で
まちづくりに
参加を！

「市民まちづくり活動促進条例」の施行に伴い、市では、皆さんのまちづくり活動を応援する新たな基金を設置しました。忙しくて活動に参加できない方も、「寄付」でまちづくりに参加しませんか。環境・福祉などの活動分野や、登録団体を指定して寄付することができます。

詳細 市民活動促進担当 ☎211-2964 ホームページ www.city.sapporo.jp/shimin/support

100万円以上の
高額寄付者の皆さん
平成20年4月~8月

北海道労働金庫、都通五丁目会、杉岡実業(株)、(株)北武グループ連絡協議会、札幌遊技業協同組合、北海道遊技関連不正防止対策機構、北海道遊技事業協同組合連合会、ジャパンネットワークシステム(株)、(株)キープグループ、(株)桂和商事、北星学園大学
(敬称略、寄付順)